

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4071201042		
法人名	有限会社 かけはし		
事業所名	グループホーム かけはし		
所在地 (電話番号)	福岡市西区愛宕南2丁目13 - 23 (電 話) 092 - 882 - 1000		
評価機関名	財団法人 福岡県メディカルセンター		
所在地	福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号		
訪問調査日	平成20年3月12日	評価確定日	平成20年4月3日

【情報提供票より】(H20年3月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年9月1日				
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人		
職員数	16 人	常勤	11人, 非常勤	5人, 常勤換算	13人

(2) 建物概要

建物形態	(併設) / 単独	新築 / 改築
建物構造	鉄筋コンクリート	造り
	4 階建ての	2 階 ~ 3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	37,000 円		その他の経費(月額)	円
敷金	有 (円)		無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (90,000 円) 無		有りの場合 償却の有無	有 無
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,300 円	

(4) 利用者の概要 (3月1日現在)

利用者人数		17 名		男性 9 名		女性 8 名	
要介護1		5 名		要介護2		5 名	
要介護3		4 名		要介護4		3 名	
要介護5		0 名		要支援2		0 名	
年齢	平均	79.4 歳		最低	68 歳		最高 89 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	白十字病院、マリン病院、神田歯科医院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホーム周辺には公共施設があり、地下鉄駅沿線に立地する利便性のよい環境にある。4階建ての建物のうち1階が産婦人科の診療所、2階と3階がグループホームとなっている。4階は法人代表の家族である医師が居住しているため24時間の救急対応が可能である。介護サービスは利用者の生活歴、趣味、嗜好が把握され、日常のケアに活かすよう取り組んでいる。また、居室には馴染みの物品が置かれ利用者にとって居心地のよい部屋となっている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 1. 職員の採用にあたっての人権の尊重、2. 職員への人権教育・啓発、3. チームでつくる介護計画、4. 消防訓練(1回の実施ではあるが)等が改善されている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価はスタッフ一同で行われたようであるが、提出された自己評価に記載漏れが認められた。前回示された要改善事項は改善はされつつあるが、具体的な改善計画書等がない。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は2ヶ月に1回の割合で開催されるように提示されているがH18年9月より現在までに5回の開催となっている。また、市町村・地域包括支援センター等の関係者の参加は確認できなかった。運営推進会議での主な内容は外部評価の報告、地域代表者からの要望等となっており、一部小・中学校との交流等が実現している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9) 意見箱を設置し、家族来訪時には意見・苦情等について尋ねてはいるが、特に意見、苦情はないとのことである。事業所、職員には直接言いづらいこともあることを想定し、アンケートで意見・苦情等を吸い上げる工夫に期待したい。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域では公民館での活動や、ボランティアの受け入れを行っている。その他にホームヘルパーの実習等も受け入れている。

2. 評価結果(詳細)

(☐ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念を「自由に選択し、自由に生きる」と掲げ、その人らしく暮らし続けられるよう支援する事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常業務の中で理念を確認しあい、理念の実践に向けた取り組みを行っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	公民館での活動や、ボランティアの受け入れを行っている。その他にホームヘルパーの実習等も受け入れている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価はスタッフ一同で行われたようであるが、提出された自己評価に記載漏れが認められた。前回示された要改善事項は改善されつつあるが、具体的な改善計画書等がない。	○	改善課題に対して目標、達成時期、目標に向けた改善活動、担当者等を明確にし、より具体的に改善計画を策定するための工夫に期待する。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は通常2ヶ月に1回の割合で開催されるようになっているがH18年9月より現在までに5回のみで開催となっている。また、会議には市町村・地域包括支援センターの関係者の参加は確認できなかった。主な内容は外部評価の報告、地域代表者からの要望等となっており、一部小・中学校との交流等が実現している。	○	市町村や地域包括支援センター等関係者の参加を呼びかけ、運営推進会議がさらに充実するよう期待する。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村には相談等で行き来し、サービスの質の向上に取り組んでいる。	○	さらに密接な連携をとる意味で、介護相談員等の受け入れの検討が望まれる。
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域権利擁護事業、成年後見人制度についてのパンフレット及び研修記録等は確認できなかった。	○	パンフレット等を設置し、必要な利用者、家族に職員が説明できるようになることが望まれる。
4. 理念を実践するための体制					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時、電話等で暮らしぶりや健康状態について報告している。居室には利用者の暮らしぶりを示すアルバムが設置され、家族来訪時には自由に見られるようになっている。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置し、家族来訪時に意見・苦情等について尋ねてはいるが、特に意見、苦情は出ていない。	○	事業所、職員には直接言いつらいこともあることを想定し、アンケートで吸い上げるなど工夫に期待したい。また、家族会や交流会などでの情報交換も望まれる。
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	引き継ぎを確実に行うことで職員の異動等による利用者への影響がないようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
11	19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の募集・採用にあたって性別や年齢等を理由に採用対象から排除していない。在日フィリピン人のヘルパーの方達も利用者やスタッフと明るく接し、楽しく介護の仕事を行っている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
12	20	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	日常業務の中で入居者の人権を守り、職員間でも啓発活動を実践している。		
13	21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人外での研修は積極的に受講できる体制にあり、その研修内容は他のスタッフに伝達されている。法人内では経験者が経験の浅い職員に指導する体制がある。しかし、研修計画書などは確認できなかった。	○	法人内部での研修計画を作成し、職員の段階に応じた教育を行っていくことが望まれる。
14	22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修等で知り合った参加者と意見交換をしたり、お互いのホームの見学をしたりと交流を図り、質の向上に向け取り組んでいる。	○	グループホーム協会等に参加し、さらに交流の機会を増やし、意見交換の中でサービスの質の向上に取り組むことに期待する。
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	新規利用者に関しては、通いながら徐々に馴染みの関係を構築するような体制を作っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活の知恵を学ぶことが多く、料理の作りかたを教えていただく等支えあう関係を築いている。入居者どうしでお世話する場面も見られ、微笑ましい。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの生活歴を把握し、本人の思うような生活を支援している。交通機関を利用し、一人で外出される利用者もおられる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員は日頃のケアの中での気づきや意見を介護支援専門員に報告し、介護計画に反映している。担当者会議に家族の参加は少なく、参加できない家族には電話で相談をし、介護計画を作成している。		
19	39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に介護計画の見直しが行われ、また変化が生じた場合はその都度職員及び家族の意見を聞き新たな介護計画を作成するようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療機関への受診や買物等の、要望に応じた支援を行っている。また自宅への外出支援等も行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族が希望すればかかりつけ医を受診できる体制にあり、家族と話し合っている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族には入所の早期の段階で「看取りの指針」等で重度化した場合や終末期のあり方について説明を行っている。看取りに関しての同意書はあるが、「看取りの指針」について知らない職員もいる。	○	現在のホーム利用者は、身体的には重度の利用者は見受けられなかったが、重度化した場合を想定して、職員間で対応方針を話し合うことが望まれる。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の居室に入る時は、居室ドアをノックして入るように心がけている。特にプライバシーを損ねるような言葉かけや対応は認められない。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	理念に基づき、日々の暮らしは利用者の希望に沿い、利用者のペースを優先して支援を行っている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員は別々に食事をとっているが、食事の準備や後片付けは利用者もしていた。		
26	59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は午後から夕食前、原則週3回である。毎日入浴する利用者もいるが、無理に入らせないでよいという考え方も取り入れ行なっている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴を把握し、利用者の能力に応じて掃除、ゴミ出し、買物、洗濯物をたたんだり、鉢植えの花に水を遣ることなども、できる人が行っている。		
28	63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買物、公園への散歩など日常的に外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	エレベーターは自由に乗り降りできるが、ホームの玄関はオートロックになっており、内からは暗証番号を入力しないとドアが開かないようになっている。		
30	73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回消防訓練を行っている。	○	年2回の消防訓練が望まれる。消防署が近い利点もあるが、地域の方々の協力体制を具体的に作ることが望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に合わせ、カロリーや栄養バランスを考えながら新鮮な野菜や魚でユニット別に調理が行なわれている。病状により、水分量が決められている人には、制限された範囲が守られている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	エレベーター周辺や玄関は暗かったが、居間等は適度に明るく、不快な音もない。		
33	85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物品が置かれ、利用者本人が居心地よく暮らせるよう支援している。散らかった部屋が落ち着く方には、利用者の許可がない限り片付けないようにするなどしている。		